

# かべ新聞

2011年1月26日  
第37号

JR東海労新幹線地本

## 2011年新春旗開き開催！



1月23日、新幹線地本は田町・駐健保会館で2011年新春旗開きを開催しました。旗開きには80名を超える組合員・家族・OBが参加し、2011年を闘う決意が確認されました。

旗開きは、松寄明さんの黙祷で始まり、成田委員長は①松寄明さんが亡くなった。国鉄改革、JR労働運動を最先頭で闘った指導者であり、松寄さんの遺志をしっかり受け継ごう。②リニア中央新幹線は安全性など多くの問題があり広く訴えていこう。③職場では危険と思い列車を止めたことに対して日勤・再教育がされ、そして配転までされている。職場から会社の理不尽なことを訴えていこう、と挨拶しました。

ご来賓として本部小林書記長、地本OB会長伊藤勝さんより挨拶をいただきました。



【特別講演】大学教員の張宏波（ちゃん・ほんぼ）さんと石田隆至さんより「現在の歴史から何を学ぶのか」と題し、今の日中関係について話されました。講演では①中国人は日本文化に憧れさえ持っていた。しかし大学院生として来日し現実の日本とのギャップを目のあたりにした。②教科書に歴史の事実を書かない。隠して教えないのはどうしてだろう。③一般的には、敗戦して新しい国づくりをするとき、

戦争の後始末として、それまでの歩みを反省し総括することから始まる。④しかし、日本はそうではなかった。「反共産主義」の立場から政府を支援して「共産中国」を敵視し、冷戦をうまく利用して戦争責任をできるだけ曖昧化し、賠償金を払わないことが前提の外交交渉をしている。⑤このような背景が「反日感情」「反日デモ」につながっている。と訴えられました。私たちは、講演の内容をしっかり受け止め、今後の活動に活かしていかなければなりません。

旗開き終了後、懇親会を開催し、各分会からの決意表明、団結ガンバロウで終了しました。2011年を職場から闘いを基礎に、組織の防衛・強化・拡大を目指し、しっかり闘いましょう。